

目標達成計画

事業所名 グループホーム たんぽぽ三笠

作成日：平成 30年 8月 22日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組内容	目標達成に要する期間
1	31	【看護職との協働】 誤投薬が比較的多く起きているが、誤投薬が起きた際の対処が医師の判断ではなくスタッフでの判断で対処されていた事例も有った。	第一に誤投薬の防止に努め、万が一誤投薬事故が起きてしまった場合には直ちに専門の医療スタッフへ報告し命の安全を守る。	◎誤投薬の防止策として以前から行っている投薬前に薬袋の名前の確認・呼名を怠らず行う。◎朝・昼・晩・就寝薬をセットする際には名前とセット場所の間違えが無い様に注意し行う。◎誤投薬があった際は直ちに非常勤看護師・訪問看護師に相談し必要に応じて担当医師・病院に連絡し正しい対処を行う。	1年
2	31	【看護職との協働】 誤投薬が事故である事のスタッフの認識の薄さと報告書の書式が統一されていないことがあり、他の書式に記録されている事があった。	誤投薬は事故であることを全スタッフが認識し、報告は統一し『事故報告書』に記録していく。	誤投薬に関して会議・ミーティングにて話し合い事故である事を認識・共有し、報告の際は間違った書式に記録せず『事故報告書』に記録していく。	6ヶ月
3	35	【災害対策】 防災管理の為、防災計画書を作成していたが内容の周知と、避難誘導時の役割や行うべき事の確認が不明確であった。又、以前は行っていたが災害訓練を実施する際に近隣の住人への訓練開催のお知らせと避難誘導の協力をお願いを怠っていた。	災害時の的確な非難誘導・救助を全スタッフが行えるようにし、地域の協力も得られるよう努める。	◎災害計画書をより具体的に追加作成し、年二回の火災避難訓練とは別に災害時の対策について把握できるように説明会を開き準備を共有する。◎避難訓練開催の際は事前に近隣の住人へお知らせと協力をお願いを記した書面を配布し、万が一災害が起きた時には救助の手が必要であることを理解して頂けるよう取り組む。	6ヶ月
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加してください。